

「江戸図屏風」とデジタル画像

Edo-zu-byōbu and Its Digital Images

照井武彦

はじめに

① 「江戸図屏風」とのかかわり

② 写真の拡大

③ ウェブページ

④ 画像加工の試み

⑤ 大画面閲覧システム

おわりに

【論文要旨】

国立歴史民俗博物館蔵「江戸図屏風」の研究は、開館以来今日にいたるまで絶え間なく続いている。その研究の流れを述べ、画像拡大が研究の重要な手段であるとの実例を挙げた。

江戸図屏風のデジタル画像については、これまで3段階の進展があった。時間順に、ホームページはじめの江戸図屏風閲覧ページ、人物データベースに向けた画像加工などの試み、絵画資料自在閲覧システムである。このうち第2のものは、これまでに公表していなかったので、若干の議論とともに、やや詳細に報告した。